
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 2 月 16 日 第 351 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 3 月 2 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・ 関門トンネルで避難誘導訓練が実施されました～列車火災を想定、迅速な利用客の避難誘導に向けて～
- ・ 福岡市交通局が消防局と合同で火災訓練を実施～万一の場合の被害を最小限に食い止めるために～
- ・ JR 貨物熊本駅で鉄道コンテナ施設等見学会を開催～モーダルシフトの推進に向けて～
- ・ 小学生に海事産業の魅力を PR～帆船の船内見学と各種シミュレーターに興味津々～
- ・ 海上技術学校の生徒に向けた海事施設見学会を開催～未来の「船長」「機関長」に造船業の魅力を発信～
- ・ 日本サバイバルトレーニングセンターをご紹介します～船舶火災に対する実践的な消防訓練等を実施する施設です～

2 お知らせ

- ・ ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの申込みが始まりました
- ・ 平成 29 年度「国土交通行政インターネットモニター」募集中～あなたのご意見をお聴かせください～

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・ 報道発表
- ・ お知らせ
- ・ 更新情報

1 現場レポート

◆関門トンネルで避難誘導訓練が実施されました

～列車火災を想定、迅速な利用客の避難誘導に向けて～

◎九州旅客鉄道株式会社（JR 九州）が 2 月 10 日（金）に山陽本線関門トンネル下り線にて、西日本旅客鉄道株式会社（JR 西日本）、福岡県警察本部鉄道警察隊、福岡県門司警察署、北九州市門司消防署等の参加のもと実施した平成 28 年度関門トンネル避難誘導訓練に、九州運輸局及び中国運輸局職員も参加しました。

◇内容

- ・ 平成 23 年 5 月 27 日に発生した JR 北海道石勝線清風山信号所構内でのトンネル内列車火災事故を教訓に、利用客の迅速な救済救護を目的に実施。
- ・ 関門トンネル走行中の下り列車で火災が発生し運行不能となる想定。
- ・ 避難誘導、状況把握、避難誘導支援の 3 つの訓練を実施。
- ・ 乗務員の適切な指示のもと JR 九州社員扮する乗客役が列車から梯子で線路に降

車し、その後トンネルから地上へ脱出。

- ・消防署員による重傷者に見立てた人形を担架で搬送する訓練も実施。

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・参加者全員が連携した人命優先と迅速かつ的確な避難誘導等が行われた訓練でした。
- ・鉄道では事故や災害、テロなどの様々な危機が発生する可能性があります。いざという時のために、関係者一人ひとりが常に安全・危機に対する意識を強く持ち、今後も訓練等を通して事故発生時の対応能力を向上していくことの大切さを改めて痛感したところです。

◇訓練の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_351_1.pdf

◆福岡市交通局が消防局と合同で火災訓練を実施

～万一の場合の被害を最小限に食い止めるために～

◎福岡市交通局は2月8日(水)に市営地下鉄箱崎宮前駅にて、同市消防局との合同による乗客避難誘導・消火活動・負傷者救助を行う訓練を実施しました。

◇内容

- ・箱崎宮前駅ホームにおいて利用客の手荷物から出火、多量の煙が発生したとの想定。
- ・連絡通報訓練、乗客（地下鉄モニターが扮する）の避難誘導、初期消火活動、負傷者の救助を実施。

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・消防や関係者とも十分に連携し、迅速かつ的確な対応ができた訓練でした。
- ・事故、災害発生など、もしもの時は、「人命が第一」で、迅速な対応と安全かつ確実な行動が要求されます。
- ・そのためにもこうした訓練を積み重ねていただくことが大変重要であり、訓練後の「振り返り」を行い、より良い手順（対応マニュアル）、異常時の態勢を確立していただくことが大切です。
- ・事故や災害が発生しないことを願うばかりですが、万一発生した場合は、訓練で身につけた成果が最大限発揮され、被害を最小限に食い止めることができることを期待します。

◇訓練の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_351_2.pdf

◆JR貨物熊本駅で鉄道コンテナ施設等見学会を開催

～モーダルシフトの推進に向けて～

◎九州運輸局では、日本貨物鉄道株式会社九州支社との共催及び公益社団法人鉄道貨物協会、九州地方通運業連盟から協賛をいただき、平成28年度第5回「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました。

◇概要

・2月10日(金)、日本貨物鉄道株式会社 熊本駅(熊本市西区)において鉄道コンテナ見学会を開催。関係主体のモーダルシフト推進に向けた取組の説明と駅構内での鉄道コンテナ現地見学に、荷主・トラック運送業者・利用運送事業者・倉庫業者・海運業者等の担当者27人が参加

◇見学会内容

①室内説明

- ・モーダルシフト推進施策の概要：九州運輸局交通政策部環境・物流課
- ・鉄道コンテナ輸送について：日本貨物鉄道株式会社九州支社
- ・エコレールマークについて：公益社団法人鉄道貨物協会

②現地見学

- ・各種鉄道コンテナ(12ftドライコンテナ(側面・妻面開き、通風)保冷コンテナ、31ftウイングコンテナ等)の構造、トップリフターを使用した荷役状況等の説明、見学
- ・意見交換等

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・モーダルシフト政策を推進している国土交通省では、その中でもCO₂排出量の少ない鉄道コンテナを有益なツールとしてその利用を推奨しており、そうした取組の一環として九州運輸局ではJR貨物のご協力の下に見学会を開催しています。
- ・国土交通省では、昨年10月から施行されている改正物流総合効率化法に基づき、物資の流通に伴う環境負荷の低減及び流通業務の効率化、省力化にかかる取組を支援しているところであり、モーダルシフトの推進に関する補助制度等もご用意しているところです。
- ・今後も見学会がモーダルシフトの推進はもとより、参加される皆様のビジネスチャンスにつながることを期待するとともに、モーダルシフト推進に向けて様々な取組を行ってまいります。

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_351_4.pdf

◆小学生に海事産業の魅力をPR

～帆船の船内見学と各種シミュレーターに興味津々～

◎長崎運輸支局では1月27日(金)に長崎市立南陽小学校5年生の児童58名を対象に海事施設見学会を開催しました。今回新たな取組として、帆船「観光丸」の船内見学と移動車中での海事関係DVDの視聴を行いました。

◇内容

- ・海事施設見学会は、海の仕事に関する施設見学等を通じて、海への興味・関心を持ってもらい、将来、海事産業へ就業を目指してもらうことを目的とする九州海事産業次世代人材育成推進協議会の「海の子」育成プロジェクトの一環として実施。
- ・三菱重工香焼工場を構内のバスから見学し、ぎ装中の旅客船も展望台から見学。
- ・移動の車中でDVD「ひかる海(日本内航運組合総連合会作成)」・「やっぱり海が好き(国際船員労務協会・全日本海員組合作成)」を視聴。
- ・帆船「観光丸」(やまさ海運(株)所有)の船内見学。
- ・長崎総合科学大学にて、操船シミュレーター、塗装シミュレーター、溶接シミュ

レーターを体験。

◇長崎運輸支局からのメッセージ

- ・児童の皆さんが、「観光丸」船長からの船内設備の説明などに目を輝かせながら聞いていたのが印象的でした。
- ・移動中のDVDも熱心に視聴してくれて、移動時間も非常に有効かつ有意義に過ごせたと思います。
- ・引率の先生からも、「海事産業を学習する機会の少ない児童たちにとって、今回の施設見学会は非常によい経験となった。」と好評をいただき、効果のある見学会となりました。
- ・今回の海事施設見学会を通じて、参加していただいた児童の皆さんが、少しでも海事産業、海の仕事に興味を持ってくれることを期待しています。
- ・今後も海に関連する職業の魅力を児童の皆さんにPRするため、人材育成に努めていきます。

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_351_5.pdf

◆海上技術学校の生徒に向けた海事施設見学会を開催
～未来の「船長」「機関長」に造船業の魅力を発信～

◎長崎運輸支局では、1月31日(火)に(公財)九州運輸振興センターと共催で、国立口之津海上技術学校1年生30名、2年生33名の生徒を対象に将来の進路選択の参考となるべく、造船・船用工業の工場見学会を開催しました。

◇内容

- ・国立口之津海上技術学校としては初めてとなる造船・船用工業の工場見学を実施。
- ・過給機(ターボチャージャー)製造メーカーの(有)秀工社にて、過給機の加工から組立までの行程を見学。
- ・福岡造船所(株)長崎工場にて、船体ブロックの組立工場、船を建造中の船台を見学。

◇長崎運輸支局からのメッセージ

- ・参加の生徒は、説明者の工場の方に熱心に質問をしたり、部品の写真をカメラで撮影したりと、興味があることが覗えました。
- ・また、見学会終了後のアンケートでは、ほとんどの生徒から「今後の学習、進路の参考になった。」との回答があり、生徒たちにとっても当運輸支局にとっても大変有意義な見学会となりました。
- ・今回見学会に参加した生徒たちから、「船長」や「機関長」などの多くの船員が輩出されることを期待します。

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_351_6.pdf

◆日本サバイバルトレーニングセンターをご紹介します

～船舶火災に対する実践的な消防訓練等を実施する施設です～

◎ニッスイマリン工業株式会社（北九州市戸畑区）では、平成 23 年に洋上サバイバル訓練施設（訓練プールや救命艇設備を使用した訓練を実施）や消火訓練施設（同市若松区）等を備えた日本初の本格的なサバイバルトレーニングセンターを開設し、現役の船員等を受講対象とした各種訓練を行っています。

◇内容

- ・平成 27 年 7 月に北海道苫小牧沖で発生したフェリー火災により、フェリーの乗組船員が死亡する事故が発生。
- ・国土交通省ではこうした火災への対策として、一定条件以上のフェリー等を運航する事業者に対し、各船に消火プランの作成を義務付け措置。
- ・九州運輸局でも海運事業者に対し、船舶火災に対して現場の船員が適切に対応できるよう日頃からの実践的な訓練の実施を指導。

[当センターが実施する〈基本訓練〉概要]

- ・消火訓練施設における S T C W 条約（船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約）の国際基準を充足。
- ・ホースハンドリング（消火ホースの取り回し方）による小規模・大規模火災を想定しての実習。ポイントは、消火ホースから出る水は直射だけではなく、ノズルのレバーを切り替えて霧状の水の膜を張ることができ、輻射熱を防ぐ盾になります。火災は炎だけではなく、炎から出る高温の輻射熱も命を脅かす大敵なので、消火チームが一体となって、水の盾に隠れながら火元へと近づく訓練を繰り返します。
- ・自滅式呼吸具（空気ボンベからマスクに空気を送る装置）を使用しての消火活動・救助に関する講義・実習。ポイントは、火災現場では煙や有毒ガスが発生します。そのため、空気ボンベとマスクを着用して消火に当たりますが、ボンベの空気は使う人の体格や作業内容によって消費量が大きく違います。自分が消費する空気の量を把握するのも重要な訓練です。

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・船舶火災では、迅速で適切な消火作業と初期段階での鎮火が重要です。当施設は、そのために必要となる船舶火災の特性、自船の発火危険箇所や消火設備の使用法等を知識・実践両面から習得できるカリキュラムになっています。
- ・一般の船舶では、今回紹介したような専門的な訓練を実施することは極めて困難であり、広く海運事業者に本施設の情報提供を行っていきたいと考えています。
- ・今回の視察で得た知見を基に、地元の消防署等関係機関と連携のうえ、火災発生時に船員がより迅速かつ的確な対応が出来る様に、訓練について様々な指導を行っていきます。

◇日本サバイバルトレーニングセンターでの消火訓練の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_351_7.pdf

2 お知らせ

◆ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの申込みが始まりました

アジア初のラグビーワールドカップが 2019 年に我が国で開催され、全国 12 カ所で熱い試合が繰り広げられます。

国土交通省ではこれを記念し、本年 4 月 3 日（月）から我が国初の特別仕様ナンバ

ープレートを交付します。

申込みは2月13日（月）から開始しています。

詳しくはこちらのURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/osirase-20160213-kanrika.pdf

◆平成29年度「国土交通行政インターネットモニター」募集中

～あなたのご意見をお聴かせください～

国土交通省は、皆さまから広くご意見お聴きして、国土交通行政に反映させることを目的として『国土交通行政インターネットモニター』を募集しています。

多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

・募集者数：全国で1,000名程度

・募集期間：平成29年2月1日（水）～平成29年3月8日（水）

・その他：応募方法・応募資格・モニターのお仕事など詳細は、平成29年度「国土交通行政インターネットモニター」募集要領をご確認ください。↓

<http://www.mlit.go.jp/common/001169642.pdf>

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより //

先週末は寒波が日本列島を襲い九州の平野部でも積雪が見られましたが、今週は気温もずいぶん上がり、春の訪れをすこしずつ感じることができます。JR博多シティ屋上の梅もそろそろ見頃を迎えたようです。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_351_8.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
